

防除情報

長崎県病害虫防除所長

平成19年度病害虫発生予察防除情報第4号

かんきつ かいよう病の防除対策について

かんきつのかいよう病の発生が多くなっています。既に梅雨期に入っており、今後急速に被害が広がる可能性がありますので、下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況等

- (1) 3月上旬の巡回調査の結果、越冬病斑の発病葉率が1.2%(平年0.4%)、発生圃場率は46.2%(平年17.8%)と平年より発生が多かった。
- (2) 6月下旬の巡回調査の結果、発病葉率0.9%(平年0.6%)、発生圃場率は46.2%(平年22.1%)であり、発生が増加傾向にある(図)。
- (3) 6月の降雨量が少ない環境でも、発病葉が多い。また、6月27日から7月2日にかけて強風、降雨が続き、さらに今後は平年並みの降雨量が予想されており、本病の発生が広がる可能性が高い。

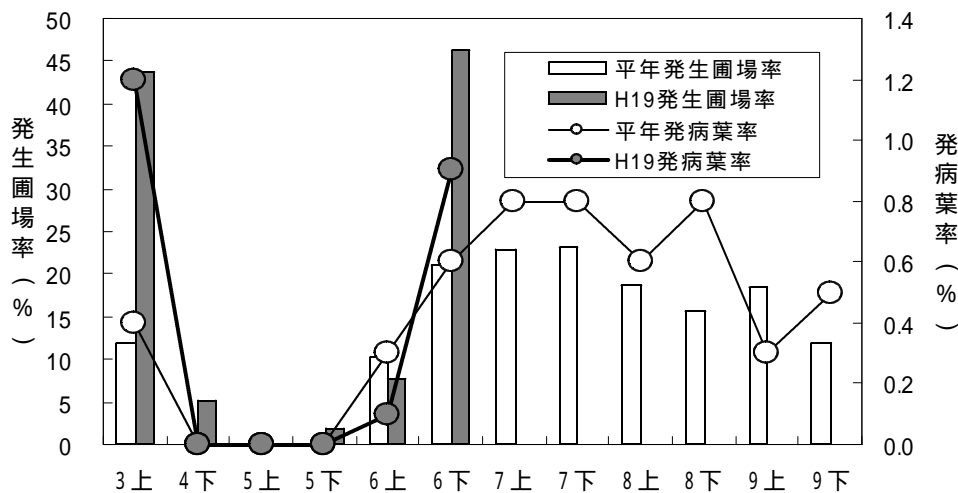


図 かいよう病(葉)の発生の推移

注: 3月上旬は旧葉、4月下旬以降は新葉の調査結果

2. 防除上注意すべき事項

- (1) 発病枝や葉は伝染源となるのでできるだけ除去する。
- (2) 昨年かんきつ類でストレプトマイシン剤の登録が失効したため、台風接近時に散布する薬剤は銅剤となるが、銅剤は高温時に散布すると薬害を生じることがある。そのため、梅雨期までに発病をできるだけ抑える必要があり、春葉に発病が認められる園等では、早めの薬剤散布による防除を検討する。
- (3) 強風による傷から感染しやすいので、今後の気象状況に注意し、台風が予想される場合は台風接近前に薬剤散布を行う。
- (4) 各品種による耐病性は下表のとおりである。耐病性が弱い品種は特に注意する。また、温州みかんでは「させば温州」が耐病性が弱い。

表 かいよう病に対する各品種の耐病性（県病害虫防除基準より）

耐病性	品 種 名
弱い	グレープフルーツ、ネーブル
やや弱い	ナツダイダイ、宮内イヨカン、天草、ありあけ
中程度	温州みかん、清見、不知火、南香
強い	ハッサク、ポンカン、ユズ、キンカン、日向夏

- (5) 薬剤散布に当たっては、使用基準を遵守する。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

「防除所ホームページ」を利用して、ながさき農林業総合情報システム（一部会員制、アドレス：<http://www.n-nourin.jp/>）やその他の情報を閲覧することができます。

この情報に関するお問い合わせは、電話またはEメールでお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027， Eメール：kngs0301@sp.jppn.ne.jp